

新宮山彦ぐるーぷ第2204回

太古ノ辻、靡看板の交換

◇実施日 10月12日(水)

晴

◇参加者 梶野照雄

1名

太古ノ辻に設置した第33靡二つ石の表示が二ツ岩(両童子岩)と紛らわしいので、背くらべ石と表示した看板を新しく作って頂き、夏に受け取っていた。交換の機会を探っていたが、気温も下がってきたので交換作業を行った。



林道ゲート前

ノコは役に立った

小仲坊に着く

十津川側から登るか、前鬼から登るかを迷ったが、時間的にはほぼ同じくらいなので、距離が若干短い前鬼から登ることにした。午前9時過ぎ前鬼林道ゲートに到着、駐車しているのは3台だった。

カマは持ってきたが、念のためノコもザツクに差ししてスタートする。ノコは後で役に立つことになる。

40分で小仲坊に着く。宿泊所で座って休憩し太古の辻を目指す。小中坊から7〜8分登った所で枯れた杉(直径8cm)が登山道に横たわっていた。ノコを持ってきたので、帰りに切ることにして先に進む。



倒木発見



二ツ岩



新たな倒木

もう少し気温が低いと思っていたが、登りでは汗をかく。二ツ岩までは登山道に異常なし。2年前に崩れた個所も安定してきたので通過は楽になった。大日谷の脇を登っていると、8月には無かった倒木が現れた。下を潜るしか通過方法がない。しかも直径5cmほどの木に引つかかっているので、ちょっと心配だ。

大日谷から離れて笹の中を登りだす。8月に日本山岳会の皆さんと下ったので笹の状態は良く判っている。カマで少しづつ刈りながら標高を上げていく。カマでの刈込なので遅々として進まず、大日谷

を離れてから太古の辻に着くまで40分かかってしまった。



笹を刈りながら

太古の辻に着く

新旧の看板

太古の辻に着き手早く昼食を済ませる。食後、靡看板の交換作業を始める。



交換終了

本日の参加者

登山者2名と遭遇

看板を留めているナットはサビではおらず、簡単に回すことが出来た。しかし支柱からボルトがなかなか抜けずちよつとてこずった。

看板からボルトを外すのもスムーズに出来た。

支柱の穴をドリルで少し広げて看板を差し込みナットで固定して交換は終了した。

荷物を片付けていると南の方から人の話し声が聞こえてきた。

平日のこんな時間に登山者がいることは意外だった。

女性五二人連れが現れた。津市の絵地図作家、植野さんら二人だった。

昨夜は持経宿に泊ったそう。池郷林道は重機が止めてあったが、工事はしていなかったらしい。5分ほど話をしてお二人は先に前鬼に降りた。

荷物をまとめて下り始める。刈り残した笹をカマで刈りながら下るが、やはり刈り込み作業は登りながらが楽だ。



倒木の切除

林道ゲートに戻る

二ツ岩で休憩して小中坊手前で横たわった枯れ杉を切除する。5分

ほどで撤去完了。小仲坊で休憩してゲートまで降りた。
ゲート前は私の車だけになっていた。
(記：梶野)

行動タイム

09::10 前鬼林道ゲート→10::02 小仲坊→11::37 ニツ岩→13::25
太古の辻→14::25→15::08 ニツ岩→16::13 小仲坊→16::45 前鬼林道
ゲート